



地域包括



かこがわ便り



平成31年
新年号
VOL.28

本年もどうぞよろしくお願いいたします

加古川町内 多職種連携研修会



11月20日、総合福祉会館の大ホールにて、**85名**の町内の介護・医療・福祉などに関わる職種にお集まりいただき、地域包括ケアシステムに活かせる**顔の見える関係づくりの場**として研修会を行いました。西村医院の副院長 谷田憲俊医師を講師にお招きし、**住み慣れた地域でその人らしい看取りを考えると題してアドバンスドケアプランニング（先行意志表明）**を中心に告知や看取りについても学ばせていただきました。

「多職種で話をするとこういう意見もあるのだなと感じ、様々な意見に触れる機会を持てて良かった」「先生の飾らない発言、真の思いが伺えて良かった」など様々なご感想をいただき、難しいテーマでの研修でしたが、皆さまの心に訴える内容であったと感じました。



加古川町内 ケアマネ研修会

10月19日、梅谷事務所 司法書士の梅谷先生をお招きし、「**相続・遺言・成年後見～ケアマネジャーが押さえておくべき法律の基礎講座～**」と題して研修会を開催しました。**27名**の参加者にお越し頂き、今回は“**予防法務**”というキーワードから、判断能力の低下前の準備の重要性などを教えていただきました。参加者からは、「**遺言のメリット・デメリットが理解できた**」「**難しかったけど、予防法務を意識していきたい**」との感想もあり、介護支援専門員としての備えの必要性を意識していただけたのではないのでしょうか。第二段を心待ちにされている方もおられましたので、次年度に活かしていきたいと思います。



6包括合同研修会

各地で、台風・地震などの災害が頻発していますが、「**介護支援専門員として災害時における役割と対応について**」とのテーマで介護支援専門員協会 常任理事 甲斐加津代氏より講義、グループワークを実施して頂きました。身近な問題としてとらえて頂いたのか、**102名**の参加者が集まり、関心の高さが伺えました。災害に対する平時からの備えを学ぶとともに、発生時のリスクマネジメントとしてクロスロード形式でグループワークを行いました。市内の介護支援専門員同士がそれぞれ顔を突き合わせ、「**判断力の向上の為には日頃の訓練が必要**」「**ケアマネにとっての優先順位がわかった**」など活発な意見交換が行われていたのが印象的でした。



ボランティアメッセ

11月4日に開催された、**ボランティアメッセ2018**に参加しました♪ **かこがわ市民活動ふれあい広場を通して地域とつながる**というテーマで、様々な市民活動やボランティア団体の活動の紹介がありました。加古川市内の地域包括支援センターの看護職も参加し、**血圧測定・握力測定・健康相談・脳の健康チェック**をさせていただきました。たくさんの方が来てくださり大盛況でした！今後も地域の方々に健康などの啓発を続けていきたいと思ひます。



認知症サポーター養成講座

加古川市立
鳩里小学校
5年生
195名

11月13日、加古川市立鳩里小学校の5年生195名を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。今年で5回目の開催となり、講師役を担ってくださるキャラバンメイトの皆さまが16名参加し、講義やグループワークを通して、**高齢者に喜んでいただける接し方**などについて話をしました。「**笑顔で**」「**目線を合わせて**」「**思いやりをもって**」などたくさんの心温まる意見があり、195名ものフレッシュなサポーターが誕生したことを嬉しく思います。



学んだことを家族や知り合いに伝えていただくようお願いし、みんなで**認知症の人や家族を応援できるような地域づくり**にもつながるのではないかと感じました。

また、業務などでご多忙中にもかかわらず、打ち合わせからご協力をいただきました先生方、キャラバンメイトの皆さまに、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

認知症イベント 2018

11月24日、加古川市民会館で「**認知症の人や家族にやさしいまちかこがわ2018**」イベントが開催されました。『**本当のトコロ、認知症とは？**』～認知症にやさしいまちづくりは誰のため～という講演があり、認知症はメディアでも幅広く取り扱われているイメージ先行型の病気であるが、偏ったイメージをもつことなく**正しい知識の啓発と普及**が大切で、**少しずつの個人の努力と周りへの緩いやさしさから共にがんばる地域づくり**につなげていこうというお話に、講演を聞かれた皆さまもうなずいておられました。



また、講演後には**認知症・介護なんでも相談会**と**認知症早期発見チェック**も実施され、包括かこがわからも参加させていただき、身近な地域から支え合いができるような体制づくりにも努めていけたらと思います。

RUN伴 2018

前日までの雨が嘘のように、絶好のラン日和となった10月13日、**RUN伴2018**が開催されました。

認知症啓発を目的とし、北海道から沖縄県まで、**日本を縦断してオレンジ色のたすきに思いを込めてつなぐ**イベントです。

チーム包括かこがわのランナー3名はせいりょう園を出発し、加古川駅までの区間のたすきをつなぎました。事前の猛練習(?)の成果もあり、多くの方の声援も受けて、無事に走り切ることができました。年々啓発活動が盛り上がりを見せ、ゆるキャラの参加や、岡田市長の演説もあり、**加古川の街がオレンジ色**に染まりました。来年も走れるように努力して、楽しく認知症についての啓発ができたらと思います。



オレンジサロン (認知症予防教室)



11月8日に、ホシ薬局の薬剤師 中谷先生による「**今からでも大丈夫！ 65歳からのフレイル対策**」と題して講話いただきました♪ 簡単に家でも出来る体操や覚えやすい食事の語呂合わせなどのお話があり、とても有意義な時間になりました！また、今回は**トライやるウィーク**という事で氷丘中学校2年生の女子生徒2名も参加して体操の実演のお手伝いをしていただきました。かわいい2名に皆さん笑顔が溢れていました(*.~*)

65歳の介護認定を受けていない方を対象に毎回違うテーマでしています。皆さまのご参加お待ちしております♪ H31.1.1